

## 第5回勝山市立中学校再編準備委員会 議事録

(1) 日 時：令和6年3月25日（月）午後7時より、（教育会館 第1研修室）

(2) 参加者：準備委員20名（2名欠席）、事務局9名、報道2名

(3) 内 容

① 部会長あいさつ

② 協議事項

・ 新中学校の制服・体操服について

③ 報告事項

・ 新中学校開校に向けた説明会について

・ 各部会からの報告（今年度の検討状況及び令和6年度に向けて）

《委員長あいさつ》（省略）

《教育長あいさつ》（省略）

事務局 ・ それでは本日の会議の流れを説明させていただきたい。レジュメに従って進めさせていただくが、まず協議事項として、新中学校の制服、体操服についてご審議をいただきたい。その後報告事項として、1月から2月にかけて実施した説明会について報告をさせていただいた後、各部会での本年度の状況報告をしていただきたいと思います。それではこの後の進行については、委員長にお願いしたい。

《協議事項》

（新中学校の制服・体操服について）

委員長 ・ では早速入りたいと思う。3からは報告なので、2の協議事項をしっかりと時間をかけたいと思うし皆さんの忌憚のないご意見をいただきたいと思う。では事務局から説明をお願いします。

事務局 ・ 私の方から説明させていただく。先ほど7時から別室の学校運営部会において、制服、体操服について審議いただいたので、その結果を報告させていただく。まず制服についてだが、手元の資料にあるように、子ども達、保護者、いろいろな方に投票いただいた結果を鑑みて、4番の制服と決定させていただいた。また、体操服についても同じく4番の体操服ということで決定させていただいた。このことをこの準備委員会で報告、ご検討いただきたいと思います。なお、本日決定していただいた制服、体操服については、後日教育委員会で最終的に決定させていただいて業者と最終契約をさせていただきたいと思っている。

委員長 ・ ただいまの説明についてご質問、ご意見があったらお願いしたい。特に学校運営部会に入っておられない方々でご意見があったらどうぞ。前の方にあるのが4番の制服と体操服である。ご意見とかご質問はないか。よろしいか。再度学校運営部会に出ておられない方々で、特に何もご意見がないようなら、学校運営部会の方で報告がありました制服と体操服、今前にあるこちらになるが、これで、この準備委員会の案ということとしてよろしいか。

（頷き多数）

《報告事項》

（新中学校開校に向けた説明会について）

委員長 ・ 特にご意見なければ、そのようにさせていただきたいと思う。協議事項は終わったということで、3番の報告事項、新中学校開校に向けた説明会について、事務局より説

明をお願いする。

事務局 ・説明させていただく。新中学校開校に向けた説明会だが、1月23日（火）から2月20日（火）までの間に市内9つの小学校区において、保護者や地域住民の方を対象として説明会を実施した。合計で217名の方にご参加をいただいた。説明会では、今年度検討を進めてきた校名や制服、体操服、スクールバス、また校舎の設計などについて説明をさせていただいた。その中で参加された方からいろいろなご意見などをいただいたが主なものとして、施設面においては大階段の必要性や地下横断歩道の安全性、また外廊下への雪の吹き込みなどについてご意見があった。また、部活動に関しては、地域移行の方向性や活動の方法、またスクールバスに関しては利便性や自転車通学の可否などについてご意見があった。新しい制服、体操服の着用時期とか、またその他の学校指定物品などについてもご質問をいただいた。その他、勝山高校の敷地内に建設することに対するそもそものご意見もあったが、ご質問いただいた大部分の方々からは、建設を前提として前向きな意見をいただくことができたと思っている。この他、中高生が同じ近い敷地の中で集まるということで不安を感じるとか、3中学校が統合することでいじめが増えたりしないかとか、そういった心配の声などもいただいた。説明会の会場にていただいたご質問に対しては、その場で教育委員会からも返答させていただいた。説明会の様子はホームページでアーカイブで公開しているので、ご覧いただければと思う。また、質疑の内容についても今取りまとめをしていて、ホームページで公開していくので、ご覧いただければと思う。

委員長 ・では、新中学校開校に向けた説明会について何かご意見、あるいは、もう少し詳しく聞きたいとかいうことがあったらお願いしたい。よろしいか。説明会もすることが目的じゃなくてそれを受けてまた次にということかと思うので、ぜひそのあたりを事務局よろしくをお願いをしたい。

（各部会からの報告（今年度の検討状況及び令和6年度に向けて））

部会長 ・なければ次に各部会からの報告ということで、今年度の検討状況及び令和6年度に向けてになる。最初に総務部会そして学校運営部会ということで私の方から報告をさせていただく。資料1の方にもうすでに皆さんご覧いただいているかもしれないが、再編準備委員会の実施状況、各部会のいつどのような協議内容があったのかという一覧が資料1にあるので、必要に応じてそれなどもご覧いただきながらお願いをする。総務部会は、今年度は校名を中心に協議をしてきた。夏休みを中心に市内の園児、児童、生徒、保護者、教職員そして市民の皆様に校名を募集をしていただいて、886件、375種類の校名の応募をいただいた。その後、総務部会の方で11候補に絞って、冬休みを中心に児童、生徒の皆さんに投票していただいて、その結果をもとに総務部会で3候補に絞った。そしてここからは先ほど報告があったとおりだが市の総合教育会議で勝山市立勝山中学校、漢字で勝山に決定された。この後、それを受けて3月の定例市議会で設置及び管理に関する条例の改正案が可決されたということで、新中学校の校名は勝山市立勝山中学校に決定したということである。先ほど紹介したように、資料1の方にあるが総務部会を3回実施をしたところである。なお先ほど一緒に説明してしまえばよかったのだが、資料2の方には各部会の検討・協議事項等について、あるので、またそれも併せてご覧いただけたらというふうに思っている。資料2の総務部会のところにあるように、1から7までゴシック体で表された部分、特にこの3と4の

斜めゴシックとなっている校歌と校章・校旗が上がっている。ゴシック斜体のところは、令和6年度の協議事項ということで、次年度はその辺りを中心に協議が進むということになる。

続いて学校運営部会の方について報告をする。今年度は、新中学校の制服・体操服について協議を進めてきたということで先ほど前にある4番でということで準備委員会の方でもお認めいただいた。振り返ると、夏休みを中心に児童・生徒・教職員・保護者にアンケートを実施して、学校運営部会で資料を決めて企画提案業者を募集、制服11点、体操服7点の中から学校運営部会の方で4点ずつに絞った。そしてその後各小中学校を巡回展示し児童・生徒・教職員・保護者の投票を行った。ということで、先ほど学校運営部会の方でも絞って、今皆様に見ていただいたところになる。資料2をご覧くださいと、学校運営部会は8から21ということで14項目あるが、特にゴシック体の8番9番であるとか11、12、17、これは今年度からの継続で協議を続けていくし、制服・体操服は決まったがその他必要な事項21番の学校指定物品等について、次年度はさらに協議を進めるという予定となっている。以上、2つの部会からの報告をさせていただいた。

では、次にPTA部会について報告をお願いしたい。

部会長 ・ それでは引き続きPTA部会の今年度の協議内容についてのご説明をさせていただく。PTA部会は、今年度2回部会を開催させていただいてともにスクールバスについての協議をさせていただいた。まず第1回目については、PTA部会のメンバーも一部入れ替わったということもあって、昨年度までの協議内容として、直行方式を軸にしたルート3km以遠を対象にした8ルート案及び10ルート案というものをご説明させていただいた。そして加えて、新たに勝山高校周辺の交通状況をさらによくし、さらに通学路の状況を考慮して生徒の安全・安心な通学環境を整えるということ、さらにはスクールバスの利便性を考慮して保護者の送迎を極力減らすということを基本的な考えとして、さらに1.5km以遠の生徒を対象にした12ルート案というものを提示させていただいた。これについては公共交通機関との併用ということで1回目の協議内容は終了させていただいた。引き続き第2回目については公共交通機関すなわち路線バスというものをスクールバスとして利用した場合の案について協議を実施した。これについては配付してある資料3-1及び資料3-2をご覧くださいと思う。資料3-1については基本的な考え方についての記載がある。資料3-2はさらに具体的に各10ルートの路線ルートを図にしたものになる。こういったような形でいろいろ検討を進めてきた。2回目の最終的には、このルート案をベースにさらに地域の実情に合わせた路線といったようなものを検討する必要があるのではないかということで第2回目の会議は終了している。これで今年度は終わったが、次年度以降についてはさらに利便性の高いルート案を検討していくということを考えていきたい。加えて、PTA部会として今後まだまだいろいろ検討事案があるので、次のフェーズとしての組織編成などについての討議も今年度は進めてまいりたいと考えている。

委員長 ・ では、施設整備部会についてお願いしたい。

部会長 ・ 報告させていただく。資料1をご覧ください。施設整備部会としては、6月、9月、11月、2月と計4回行われた。思い返すと6月にプロポーザルを行って設計をしていただく業者を決めた。そこから一気に設計事務所の方の案をもとに話し合っ

きた。大きくポイントとしては、高校の中に中学校を建設するという事で、勝山高校の玄関を壊して新しい教室棟を作るということになるので、高校生のルートと中学生のルートをいかに分けるか、はたまた一緒にするか、そういうところが大きなポイントになった。途中で給食室を作ったり、その上を生かした半屋外広場を作ったり、多少のプランが出てきた。そして、大階段が2つあって、そこへの入り口や位置についても検討を行なっていった。そういったところで大きくプランが動いてきたわけだが、当初の案をもとにできるだけいい建物ができているのではないかと思う。そして自分としては、教育を具現化していくものが建物だと思っている。勝山の新しい教育としての新しい学校という位置づけかなと思っている。大階段が2つから1つになるかもしれないが、1つ減ることによって新しい教育ができなくなるということではなく、そのためにどういった階段に変わる空間を提案していくかということも含めて、来年度持ち越しながら皆様と一緒に考えていきたいと思うので、引き続きお知恵をいただきたいなどと思っている。よろしくお願ひしたい。来年度、それ以外に資料2について見ていただくと、引き続き校舎等の整備方針ということがあるが、来年度については、基本設計が終わって実施設計の方に進んでいく。今年度、学校で何を捨てるか、何を残すかという備品についてまとめていただいているので、それが3校1つの場所に集まるので、その中からどれをまた残していくのかという協議が来年度行なっていく。それが学校備品、学校図書等の整備となる。そして、3校の歴史をいかに新しい建物の方に継承していくかということも議論していかなければならないので、それが具体的に進んでいくという形になる。

委員長 ・補足があったらお願ひしたい。

事務局 ・事務局より補足を説明させていただく。資料の4番をご覧ください。A4縦長でカラーの緑、青色、赤色の付いた図面がある。こちらは勝山高校の特別教室棟の平面図、新しい中学校の北側に位置する校舎の図面になる。廊下という矢印が書いてあるところが、校舎と勝山高校の特別教室棟をつなぐ場所になる。現在県と協議を進めているが昨年度はエリア分けの各諸室の割り振りを検討して提示させていただいた。現在この緑色の部分は中高生と共に使う諸室になる。青色の部分は主に高校生が使う諸室、そして赤色の部分は中学生が使う諸室として、現在計画をしている。こちらの方は、県の予算で大規模なリノベーション工事と言ってリノベーションというのはほとんど内装を解体してしまって、新しく作る工事となる。これを6年度には設計今もしているが、設計を引き続きして、7年度から工事に着手する予定となる。さらに、こちらについても県と協議を進め、今後より良い校舎になっていくように検討しているので、皆様のご了承のほどをよろしくお願ひしたい。

委員長 ・では最後になるが、ワーキングチーム会議について報告をお願ひしたい。

事務局 ・事務局より、ワーキングチーム会議について報告をさせていただく。ワーキングチーム会議については、昨年度の構成メンバーに今年度は小学校の先生も加わっていただいて、今ほど申し上げたとおり5回の会議を開催した。それぞれの専門部会に先立って、校名や制服、体操服の選定方法、基本設計、スクールバスの運行方法などについて、現場の先生の視点で協議をいただいて、これらの意見は各部会の協議の中で参考にさせていただいたところである。この他に、主体的な生徒活動など中高が連携した特色ある教育活動の進捗状況を共有するとともに、校時表、それから各校種間の連携、

交流の企画であるとか先ほどもあったが、部活動の在り方などについても話し合いを持った。さらに、探究活動を中高連携教育の核にしたいという考えから、中高連携の探究カリキュラム検討委員会を年度途中から立ち上げて、探究学習を通して中高が連携してどのような力を子ども達から引き出していくべきか、このようなことを4回の会議を開いて、若い先生方を中心に話し合っていた。次年度は、目指す生徒像を具現化する教育課程を目標に、県とも連携を取りながら具体的な教育を進めたいと考えている。

委員長 ・ずっと説明が続いたが、一連の説明について何かご質問、ご意見があったらお願いしたい。

委員1 ・私が部会に入っていないスクールバスの通学について伺いたいのだが、今、ルートの検討をされていると思うが、保護者の立場からするとルートはどこを通ってもいいが、バス停をきちんとしてほしい。今後の議論になると思うが、バス停ってすごく目立たなかったり、道路の脇にあって例えば目の前にコンビニとか大きい建物があるのにその反対側にあったりとか結構だと思う。その雪の中、除雪されているところが目の前にあって除雪されていない。道の側にバス停があったりとかするので、そういったところは利便性と民間の施設というのも活用しながら雨風に濡れないとか防犯上安全なところでバス停をきちんとルート上そこにあるからということではなく、考えていただきたいなということの一つ意見として言わせていただきたい。

委員長 ・ご意見ということでよろしいか。

部会長 ・今の手順を実際この図面も見ていただくとわかるのだが、それぞれの場所をある程度それも合わせて検討を進めているけれども、実際に今ご指摘いただいたように、結局各校区ごとで地域の実情を知らない状況の中でこういうルートとバス停を決めることが非常に難しいということで、今回の部会の中でも結局各校区に分かれて実際の自分たちの住んでられる地区の実情というものをある程度想定しながら、今回こういうような路線図を考えている。今後も当然、実情に沿ったような形、雪の降った時の状況がどうなっているか、そういったようなことも含めて考慮しながらこの路線を検討していく、ということを進めているので、今おっしゃられたようなところは十分検討を進めていきたいと思っているので、よろしくお願いしたい。

委員長 ・他にご意見はあるか。

委員2 ・議会で大階段が議論になったと思うが、これは施設整備部会でも認めたというかいいのではないかという話になったのではないか。施設部会ではないのでわからないが、今後議会との議論でどうなるかわからないが、これは施設部会ではどういうふうに進めていく予定なのか。多分、設計の方もかなり力を込めていたのではないかなと思っているので、その辺を教えてほしい。

事務局 ・施設整備部会の方は大階段が2つという設計案をお示しをして、それも含めていろいろご意見をいただくという形できた。それが3月議会と手前の2月あたりから特別委員会というのがあるのだが、急にそういう意見がたくさん出てくるようになったので、それをまだ部会に持ち帰って聞いてとか、そういうことは実際にできていない。時間的にも部会がなかなか開けないということもあるので2月以降については申し訳ないが事務局の方で受けて議会対応しているという現状である。今後、基本設計を最終的にどういうふうに仕上げていくかというのは、実は今週の金曜日に関係の議会の方の特

別委員会を開いていただいて、議員の方から意見を聞いて、それを踏まえて設計の検討に入るということになる。こちらの部会でいうと、年度変わりでメンバーが変わるということになって、新しい来年度の準備委員会も4月早々には立ち上げることは難しいので、しばらくはこちらの事務局の預かりでやらせていただくというような形になろうかなと思っている。それがいつ仕上がるかというあたりもあるが、基本設計が固まると、今度は実施設計という詳細な設計の作業、これは今こういう状況なので、当初の予定は6月末ぐらいまでにという予定だったが、もう何ヶ月か伸ばさざるを得ない、中身によって伸ばさざるを得ないということがあるので、そこについてはまた新しい部会の方、あるいはこの準備委員会の方で報告をしながら進めさせていただくというような格好になろうかと思う。4月中ぐらいまでは事務局と議会とのやり取りでどうしてもせざるを得ないという状況がある。

委員3 ・よくわかった。議会も大事だろうが、こっちは民意だと思うので、その辺は教育長さんが頑張っていて、せっかくこれでいこうという話になったと思うので、よろしくお願ひしたい。

委員長 ・ご意見はありがたい。他にないか。いつも言うが、ちょっとしたことが大事なことが多いのでどうなんだろうとかいうことがあったら出していただいた方が今後につながると思う。ご意見が出てやっとなんか会議らしくなってきたというところだが。

部会長 ・雑談でいいか。別の小中学校の建設にも関わったが、運用後も少し関わらせてもらいながら調査という学生の修士論文の研究という形で使い方を見させてもらっている。通学路の研究をしていて、歩いての通学からスクールバスへの通学に変わった児童を対象に、「通学路の中で気づいた点とか地域とかの関わりはありますか」という小学生にワークショップの形式で意見を聞いた。歩いていく時の通学路の意見は結構バラバラに分散しているが、スクールバスを運用してからだと、かなりバス停付近に意見が集中している。バス停から見える桜が綺麗とか、バス停からの車の交通路が危険とか、そういった意見が結構バス停中心に集まっているので、児童としても地域との接点というところがバス停付近に集中していくのかなと思った。ただ、そこもバス停の整備まではできていない。数も多いので、そういう意識は持っているとしても整備はできていないので、そういうところの部分では今後のまずは中学校を作ることは大事だと思うが、バス停も大事なのだろうな。でも、ただ全部やるのは大変だろうなと思ひながら今見守っている。

委員4 ・スクールバスのことでもう少し詳しくお聞きしたい点がある。現時点で中学生を中心にスクールバスを運行するというところで、高校生とか一般の方の乗車ということについてどのように今後進めていく予定なのか。デマンドバスとかも、一定の地域しか運行できないところもある。、せっかくスクールバスという面ではあるが、バスを運行するというのを皆さんも他の地域の方にも利用しやすい感じになるといいのかなと思うがその点はどうか。

事務局 ・高校生や一般の方の利用ということについては、いわゆる公共の今走っている朝夕のバスを利用するというところで今検討を進めているので、一般の方がおじいちゃんおばあちゃんがバス停にいたら乗ってもらおうということをお前提で考えている。それから今開校したときの勝高生がどれだけ乗るかというのはちょっとまだ未知数だが、この新中学校を卒業して勝山高校に進学する子が中学校のときにスクールバスを利用してい

れば、その子は高校に入っても引き続き利用したいと思うのではないか。そういう意味では高校生も乗ってもらうというのは、一般の方と同じように当然可能にするということが大事だと思っているが、今部会とか我々も想定を苦慮しているのは、なかなか人数が何人なのかがわからない部分があって、だからどうしてもマックスのところではバスの台数とかルートとか考えるというようなところで今作業をしているという状況である。ただ、朝夕の今バス停で待っておられる一般市民の方というのは、実はものすごく少なく、ほとんどバスを見てもガラガラで走っているというような状態。そういうこともあってスクールバスとして使えるのではということで、今少し方針も変えてやっているという状況である。もう一つのデマンドは今一部の地域でやっているが、市の方針としては勝山全域にデマンドを広げていくという方向性も検討していると聞いているので、そうしたときに、もし全部フルデマンドになったら、朝夕のスクールバスは定時定路線で走るのか、フルデマンドとの関係とかもつけていかなくてはならない。それは市長部局に担当課があるので、我々だけではなくて市の全体的な公共交通機関の方向性と合わせて、スクールバスを上手に合わせていくというか、それを今からさらにやっていかなくてはならないという状況にある。そのことについて今方向性がはっきり決まっているものではない。今ご指摘のところは我々も踏まえている。

委員長 ・他にないか。個人的に思ったことでも結構だしいろいろな所属代表で来られているかと思うので、そこで聞いてきたような声も含めてどうか。

委員 5 ・今、スクールバスの路線図とかも出ていて、スクールバスを利用する前提の話が出ていると思う。それ以外に今高校生の自転車登校の状況がわかっていないのははっきりしないが、スクールバスをもし利用しない場合、雨が降っているときや雪が降ったときはスクールバスを利用したりする子も多いと思うが、それ以外で暖かい日、夏とか天気の良い日とかは自転車を利用するという子がいると駐輪場は今どうなっているのか少し不安になる。勝高の駐輪場を多分使うことになると思うが、もし中学生がスクールバスが多ければ駐輪場が小さくていいと思うが、自転車を利用したいという子が増えた場合駐輪場を十分に使えるのかどうか知りたい。

事務局 ・今分かる範囲で答えるが、結局バスは1.5km以遠にしているの、自転車でも乗れるという範囲になる。だからものすごく人数が今多くなる。自転車は乗ってはダメなのかということもそうということもなく、生徒によってはバスは乗らない、自転車で行きたいという子もいるし、雨の時、雪の時は車で行きたいという子もいるかもしれない。いろいろな状況は対応していかなくてはと事務局としては思っている。人数がまだ確定されていないので、どのくらいバスに乗るのか、どのくらい自転車を利用するのか、どのくらい車になってしまうのかとかいろいろあって、とりあえずは今、対象者の中学生が全員乗るとした場合のルートになっている。今後は果たして本当に乗るのか、バスを用意したが大きいバスでずっと空で走っているのは大変なことになってしまう。そういったことも含めてまた部会でも検討しながら、今おっしゃるような自転車の駐輪場の大きさも考えていかなくてはならないなという段階である。今はいろいろな選択肢を何とか可能性があるように考えていきたいと思っているところである。

委員長 ・同じような疑問を持っている方がこの場以外のところでもいると思うので、そういう

意見を代表して言っていたかと思う。遠慮なく言っていた方がそういう意見でどんどん良くなっていくと思うので、遠慮なく出していただけたらと思う。

委員 6 ・この場でというわけではないが、次年度以降へのお願いという形で、同窓会として令和8年度には今現状のまま進むと解散なり、移行なりという話になってくるかと思う。先ほど個人的に中学校のPTAの会長さんとは話をさせていただいたが、同窓会の解散とか今後の取扱いについてもまたご協議なり、そういった話をこの中で次年度以降していただけると非常にありがたいかなと思う。中学校の状況だけを申し上げると、同窓会の会費の方がそれなりに大きい金額で残っている。取扱いをどうしようかという話を今後進めていかなければいけないということもあって、できれば3中学校合わせてになるのか、それぞれの中学校で個別にという話になるのかは、今後の話になるかと思うが、そういったこともぜひ念頭において進めていただけるとありがたいなと思っている。個人的な意見で申し訳ないが、そのあたりもまたよろしくお願ひしたい。

委員長 ・県立学校の再編の方も私も何か所か関わってきたという話をさせていただいたかと思うが、同様にやはり同窓会の扱いというのはどの地区でも議論になるし、同窓生にするともう頼るところがないかみたいなどころも出てくるので大事な部分かと思う。そのあたりも事務局よろしくお願ひしたい。

委員 7 ・私の方からも、来年度を検討することになっているPTA部会のPTA組織の編成の件に関するのだが、先日市P連の代表者会議の中で、ぜひこの意見だけは準備委員会の中で伝えていただきたいということで、意見を託されたので、お伝えしたいと思う。中学校設立にあたりぜひ専任のPTA事務局の配置を検討していただきたいという意見である。事務局校となった年の教頭先生はどうしても負担が大きくて、これを軽減するためには専任の事務局を立てたらどうかというのがその方の意見で、それを新中学校の校舎の中にそういった位置付けを設けてはどうか。今レイアウトが決まったところなのでそれはどうかなと思ったが、そういった意見もあるということをお伝えしたい。これは一つの意見として市P連の総意ではないが、こういった来年度のPTAの部会の中で話し合われるようなので、こういった意見も参考に取り入れていただけたらと思っている。

委員長 ・そういう意見をどんどんこの場で伝えていただけたらと思う。他はいかがか。ご質問はどうか。よろしいか。レジュメはその他とあるが、その他が特になければせつかなので予定の9時まで20分くらいあるので委員の皆様は1年間を振り返っていただいて、次年度のことも含めながらでも結構だご意見をお願いできたらと思う。ざっと20人くらいいらっしやって20分なので1人1分くらいでもっと言いたいことがあるかもしれないが、絞って言っていただけたらと思う。順番としては学校関係者からということで、学校の立場からよろしくお願ひしたい。

委員 8 ・1年間ありがとうございました。たくさんさんの会議があった。たくさんさん思いついたことを遠慮なく述べさせていただいた。子ども達の笑顔のためにという気持ちで現場を代表して述べさせていただいた。先ほど市P連の方からご意見があった。市PTA連合会の事務局が、今各小学校とか中学校に順番で回っている。そこで回ったときの教頭が1年間大変な思いをして事務局をやっているんだけど、それを教頭先生ではなく、誰かを雇って新中学校の中にずっと置いてはどうかという意見だった。ただ、今、校長会の方で議論が進んでいて、今新中学校はいろいろなものを3つで分担していたが



いろいろな業務が集まる。非常に大変になる。多忙になる。だからもう中学校はPTAの事務局を回さないという形もありではないか、小学校だけで回そうではないかという意見もある。ということで、選任の方を会費の中からお金を出して雇うという方法もあるが、中学校にはもうPTA事務局を回さないというような議論もある。今後また校長会の方で令和9年度まで、どんな形にするのが一番中学校のためにもいいのかを含めて議論を進めていくことになっているので、いただいた意見を参考にして、また校長会の方で議論させていただく。

委員 9 ・ 1年間お世話になりありがとうございました。いい学校をつくりたいという思いで、この会が発足して意見をいろいろたたかわせてきたが、なかなか全員の皆さんが納得しながらものをつくるというのは、とても大変なんだなということを実感している。自分の家を建てるなら自分の思いだけで済むが、やはりいろいろな人の考えがあってそれを取りまとめる事務局さんのご苦労も感じたし、我々もなかなか言いにくいこともあったりして、難しいなということも実感した。でも、学校外のいろいろなPTAの方々が私たちに気づかないような意見を言ってくださったり、学校とは関係のないところでいらっしゃる方がいろいろなことを言ってくださることにありがたいなという思いも強くした。動き出してしまっているのだから、これからはまたより良くなるように考えていきたいと思うし、私たちは子どものために一生懸命考えていきたいと思う。

委員 10 ・ 今思っているのははいよいよ3年になるわけで、僕はもう中学校の教員がいかにして1校になった時の準備を進めるか、実際には2年かなと思っている。中学校だが、基本的に9校の小学校が1校の中学校に集まるというのは、日本でも数少ないことだと思っている。その辺の整備をやはり2年間できちんと進めていくことが学校の立場としては大事なかなと思う。本当にどうもありがとうございました。

委員長 ・ 続いてPTAの方をお願いしたい。

委員 11 ・ 1年間ありがとうございました。高校の話だが、勝山高校は長らく定員割れが続いていて、今年の1年生はようやく定員が満たされたかなと思ったら、来年の1年生はかなり多く定員が割れるということになった。新聞を見たときに、来年から中学校の建設が始まって工事とかがあるからそんな影響もあるのかなと、少しうがった見方をしてしまったが、中学校の再編で1校になり、そこが高校と同じ敷地ということなので、中高を合わせて魅力を高めていただいて、高校の方も元気が出るような形になっていきたいなと思っている。

委員 12 ・ 昨年度から引き続いて2年間この会議に参加させていただいて本当にありがとうございました。PTAの代表という立場ではあったので、なるべくPTAの保護者という立場での意見を述べさせていただいた。ただ、自分の思いというのは率直に疑問に思うことでありますとか、もっとこうの方がいいというのは伝えさせていただいたつもりである。また、毎回の会議で皆さんの活発な意見とかも聞くことができて大変有意義な議論もできて、自分も新中学校の準備に携わることができて大変よかったなと思っている。来年度からはまた、別の方がPTAの立場としてこの会議に参加されることかなと思うが、いろいろな意見を持っている方がおられるので、今後でもできる限りたくさん保護者の意見を丁寧に吸い上げられる伝えられる場を用意していただけたらと思う。

委員 13 ・ 1年間ありがとうございました。去年に引き続き2年目だが、ぜひ、また昨年と同じことを言ったが、より良いものとなるように、子ども達のために今後の勝山のために

も含めてまた議論を尽くしていただければと思っている。

- 委員 14 ・ 1年間本当にありがとうございました。人生の中でこうやって中学校再編の準備委員会に携わるといことは思ってもいなかったし、そう滅多にあることではない。良い経験をさせていただいたと思っている。皆さんの意見を聞いていると、皆さんが新しい学校のためとか、子どものためという気持ちが非常に強くていろいろな意見も出たし、その中でいろいろ勉強になった。今設計のことで大階段が1つなくなるということで、そのスペースを有効に活用できるようには思っている。私は今年度で終わりだが、来年度また良い意見が出ることを祈っている。
- 委員 15 ・ たくさんこの会議に参加させてもらって一番考えたのは、子どもが楽しく学校に来れるとか、気持ちよく学校に来れるような環境を作ってあげたいなという思い。こういう会議に参加させてもらって、本当にいろいろ勉強させてもらっていい機会があったなと思っている。また、来年度は違う方がここに座ることになるかなと思うが、また一人の保護者として意見を言える場があれば参加したいなと思うので、よろしく願いしたい。ありがとうございました。
- 委員 16 ・ 皆さん一年間ありがとうございました。そして委員長をはじめ教育長、市役所の皆様、そして代表者の方々、一年間、本当にお疲れ様だった。私自身参加できなかった時もあるが、来年、引き続きPTA会長をさせていただくということで、またこういう場があれば参加させていただけると思うので、よろしく願いしたい。
- 委員 17 ・ 1年間ありがとうございました。再編準備委員会に参加させていただき、最初は何のことをするのかと思って不安から始まったが、いい意見を言えるかなとすごく不安だった。こういう場にもあまり慣れていなくてあまり意見が言えなかったという気持ちは半分ある。今小学校6年生と小学校5年生の子どもがいるが、新しい制服とか実際にさわったり見えたりすることで結構嬉しかったということを書いていたので、子ども達も結構ワクワクしている。実際に物を見たり経験することによって子ども達も膨らんでくるということもあるので、子どもの意見とか保護者の方の意見を聞いていただいて、今後もまた検討していただけるといいかなと思う。また、より良い中学校になることを願っているので、今後もよろしく願いしたい。
- 委員 18 ・ 一年間ありがとうございました。正直、これが始まる前は我が子が中部中学校最後の卒業生ということで、大変だなと少し他人事だったが、こういう機会をいただいて、やはり改めて関係ないことではない、ある意味で言えば、中高連携の一期生になるかもしれないということで、いろいろ思いや言わせてもらって本当にいい機会だった。また、来年選ばれるのであれば、会長にしっかりと意見を言うように伝えておく。
- 委員 19 ・ 今年度一年、ありがとうございました。自分の子がやはり新しい中学校には通えないので傍観的な感じで去年まではいたが、今年度参加させてもらうことによって、この新しい中学校ということだが、新幹線も来て勝山市もだんだん活性化して観光客が流れて、もしかしたら移住者が増えて子ども達も増えるかもしれないということを見ると、やはりより良い中学校をみんなで考えるということが一番大事なかなと思う。これからも自分の意見を説明会でも少し言っていけたらいいかなと思っている。
- 委員 20 ・ 一年間ありがとうございました。先ほど施設は教育を体現する場だということをおっしゃっていたので、まさにその通りだなと思った。建物というのは長く続いていくのかなと思ったので、特に今できた瞬間はすごい大事だと思うが、子ども達からすると20年30年、教育が変わる、教育内容も変わるし、現場も変わるという中に、それ

を見すえてこういう施設とかやり方とかを考えていくのが大事なのかなと非常に思っていて、今の教育をどうするかというのもあると思うが、子ども達が卒業してどういった人を作っていくのかという、ビジョンとか信念みたいなところを持ってやっていただけると、より良い学校になるのではないかなと思う。私は今年1年で終わりになるが、皆さん、引き続き頑張ってくださいなと思っています。

委員 21 ・会長を去年から1年経って、この会長をしているせいかわからないが、中学校再編準備委員会の委員ということで、実は突然たくさんの方が私のところへ押しかけてきて、発言できるのではないかとということで、もう本当にいろいろな人が来るようになった。ただし、ほとんど反対の人になる。賛成の人はあまり声を上げないが、反対の人はやはり声がでかい。なんとか言ってくれないかみたいな話が多かったが、それを考えると先ほどの話もあって、みんなの意見をまとめるというのは無理だ。会として一つの方向性を出すというのはまず無理で、いろいろな人がいる。これは全体的にもそうだと思う。やはり幸か不幸か会長になったので、まとまらなければ自分の考えで進めるしかないかなと思う。ただ皆さんいろいろな意見を言われる中でもそうかなという部分も多少はあるが、そういったところを私は非常に勉強させてもらった。もう一点先ほど大階段が2つは無駄だという意見があるということだが、私は新しい中学校の学習環境というか、そこには多少無駄でも無駄があってもいい。それがいろいろな情操教育に役に立つのではないかなという考えである。決して無駄だとは思わない。無駄を省いてというとはっきり言って机を並べた昔の校舎のイメージになってしまう。ぜひとも無駄も情操教育には必要だと思うので、頑張ってくださいなと思う。

委員 22 ・ちょっと異質な感じで、1人入っているというのもこういうメンバーの中で珍しいかなと思う。1年間、本当に大変お疲れ様でございました。1年終わって考えたのが、学校運営部会がまた来年も続くのかなという思いだけだが、今年、制服とか体操服を考える上で詳しくは言わないがかなり事務局の方にご迷惑をおかけしたと思う。大変失礼した。また、来年度もよろしくお願ひしたいと思う。

部会長 ・皆さん1年、どうもご苦労様でございました。PTA部会の方も今、スクールバスというものを主に協議を進めているわけだが、これ一つ取ってみても単純に路線とかいう問題だけではなくて、今後は土日はどうするのか部活との絡みはどうかとか、実際の運用面についてどのようにしていくかということも、当然議論していかないといけない内容になる。資料にもあるように、これからはPTA組織編成であったりとか先ほど話されたような同窓会の組織編成であるとか、そういったようなところに踏み込んでいく。私自身もこれまでいろいろPTA会長等経験させていただいている中で、PTA会長にもなかなかいただけない、結局、各中学校区でもPTA会長を決めるのに非常にご苦労されている。さらには結局校区持ち回りで会長を選任するということが非常にご苦労されていることだろうと思う。今後そういったようなことも配慮する中で、やはりPTAというものは当然、子ども達の模範となるような組織であってほしいなと思う。そういう意味で、やはり率先してPTA活動に専念できるようなそういうような組織にできたらしていきたいという思いもあるし、それは当然、皆様方のご協力をいただく中で進めていかないといけないということがあるので、今後特に今年はコロナ禍が5類になって非常に子ども達の元気な顔をよく見るにつき、やはりこの子ども達のためにPTAとしてしっかりと活動を進めていかないといけないということもさらに思った。来年度以降はさらに推し進めてPTA部会の方をより良い活動にしていきたいと思うので、またご協力をよろしくお願ひしたい。

部会長 ・ありがとうございました。皆さん、本当にお疲れ様でした。事務局の皆さんも本当にいろいろ大変だったと思う。思いとしては先ほど言わせてもらった通り、教育を作る場、体現する場として具現化したものが建物だと思っているし、建物の形を変えるとすることはソフトが変わるから建物も変わる。今、ICTも進んで新しい教育の仕方が変わってくるから、新しい学校空間が必要だという考え方ではある。大階段はこれから2つのままでいくか、1つになるか、まだここではわからないが、そういったときに1つになったからこういう教育をしたいから1つにした方がいいよとか、そういうところの議論であってほしいなと思う。建物ができるといろいろな人たちの注目を浴びるしいろいろな意見が出てくる。それを1つにまとめるのは、やはりほぼほぼ無理な話だが、その建物の向こう側には教育というものがあるということは、皆さん共通の認識で、こういう教育に向かったいこうということを話し合っていきたいと思っている。今後も皆様と一緒に続けていきたいと思うので、来年度もできるとしたら、またよろしくお願ひしたい。

委員長 ・少しだけ時間をいただいて、私の方からも一言御礼を申し上げたいと思う。まず委員の皆様、本当に1年間お疲れ様でした。ありがとうございました。何が良かったかという、委員の方がどんどん手を挙げていろいろなご意見を出していただくという、それがまず大事だった、ありがたかったと思っている。批判的思考というのがあってクリティカルシンキングというのだが、いろいろな立場からのいろいろな意見が出ていろいろな思考ができていかないといいものができていかない。この批判的思考、批判的な意見、否定するのではなくて、この批判的思考というのは本当に大事で、いろいろな観点からのご意見を出していただいたというのが、まずいいものを作っていく上では必要だった。そういう意味で委員の皆さんのいろいろなご意見はありがたかったと思っている。そしてずっと言い続けてきたことだが、いろいろなところに入れてほしいと言っていた、どんな中学校を作るのか、どんな子どもにするのか、全てはそこだと思う。うっかりすると手段が目的化して、何か目の前のことを決めるのが目的になってしまうかもしれないので、その先にあるどんな中学校にするのか、どんな中学校をどんな生徒にするか、その先にその子たちが学んだ子がいずれ大人になって勝山の大人たちみんなになっていくので、勝山のみんなをどうするのかという話かと思うが、常にそこを最上位目標、原点にしていろいろな議論が進むといいなと思っている。最近この会議に向かうときにはもう暗くなってしまって景色が見えなくて寂しいが、1回目に申し上げたように勝山は本当に自然も豊かで、左義長とかいい文化もあって、子ども達にとっての学習環境は決して教室だけではなくて自然もそうだし、文化もそうだし、話さなくてもすれ違う大人たち、人々も環境になるし、学校の先生方ももちろんそうだが、これから来年決まっていく細かいものすべてが環境、そういう環境をどうするのかということで、最上位目標それを常に忘れることなくいろいろな議論がまた進んでいくといいなと思っている。本当に1年間、皆様、どうもありがとうございました。報道の方もありがとうございました。ぜひ、また皆さんにお伝えいただけるとありがたいと思う。では事務局お返しする。

事務局 ・今後は本日、いろいろたくさんご意見をいただいたので、これを踏まえながら令和6年度につなぎたいと思っている。今年度の各委員の皆様1年間、本当にありがとうございました。

事務局 ・今たくさんご意見をいただいたが、本当に1年間感謝の気持ちでいっぱい。2年経つが、去年1年間と今年1年間はやはりこちらへ来る意見もだんだん反対の声が少なくなってきた、期待する声が大きくなってきたなというのは実感をしている。それに

つれて責任はどんどん大きくなっているというのが最近の気持ちになる。先ほど申し上げたように、中学校を作る条例が可決されて、そこには令和9年4月1日施行と書いてある。つまり、その日には開校するという条例が決まった。逆に言えば、絶対に遅れないようにそこに間に合わせていく仕事をしっかりしていかななくてはいけないという気持ちも現れている。今は設計のこととかまだまだ詰めなくてはいけないこともたくさんあるが、その日を目指して事務局がしっかり精一杯、これからも頑張っていきたいと思う。今回で役を変わられる方もいらっしゃると思う。皆さん、続けてほしいと思っているが、もし変わられた場合も、今度はまたそれぞれの立場のところでこの新中学校開校に向けた応援団としてぜひいろいろとお力揃いをいただければありがたいと思うので、引き続きどうぞよろしくお願ひしたい。今年度1年間大変お世話になりありがとうございました。

事務局 ・では以上で第5回勝山市立中学校再編準備委員会の方を終了させていただく。本日は本当にお忙しい中、遅くまでありがとうございました。

- 資料1. 令和5年度勝山市立中学校再編準備委員会の進捗について
- 資料2. 令和6年度再編準備委員会（専門部会）検討・協議事項（案）
- 資料3-1. スクールバス通学について（案）
- 資料3-2. 勝山市立新中学校スクールバス路線図（案）
- 資料4. 勝山高校特別教棟改修計画（現状+案）